

令和7年度第3回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要（1日目）

日 時：令和7年9月12日（金）

午後6時～7時55分

場 所：市役所市民防災館3階 防災会議室

1 出席者

審査委員 土井委員長、大倉委員、安田委員、相馬委員、小山内委員、秋元委員、伊藤委員、佐藤（信）委員、斎藤（明）委員、齋藤（夢）委員、小向委員、大湯委員、一條委員、佐藤（綾）委員、工藤委員

事務局 土岐課長、山崎課長補佐、佐藤主幹兼協働推進係長、田中主幹兼市民生活係長、工藤主査、佐々木主事、吉田主事、山内主事、成田主事

2 審査方法

（1）一般部門

1 事業ごとに申請書類及び公開プレゼンテーションの内容を踏まえ、審査を実施。審査委員は、審査項目をもとに1人100点満点（10項目×10点）で採点を行う。審査委員が申請書を提出した団体に所属する場合は、審査から外れるものとする。

【補助金の交付決定を受けた回数が0～2回】

採択 …次のすべてを満たすもの

- ①出席委員の合計の平均点が60点以上
- ②出席委員の各審査項目の平均点が3点以上

【補助金の交付決定を受けた回数が3回以上】

採択 …次のすべてを満たすもの

- ①出席委員の合計の平均点が60点以上
- ②出席委員の「公益性」、「将来性」、「費用の妥当性」の審査項目の平均点が6点以上
- ③出席委員の「必要性」、「実現性」の審査項目の平均点が3点以上

（2）スタート部門

1 事業ごとに申請書類の内容を踏まえ、審査を実施。審査委員は、審査項目をもとに事業の適否を判断する。審査委員が申請書を提出した団体に所属する場合は、審査から外れるものとする。

3 審査結果

- ・一般部門 10事業中 5事業
 - 採択事業 4事業
 - 不採択事業 1事業
- ・スタート部門 2事業中 0事業
 - 採択事業 0事業
 - 不採択事業 0事業

《審査内容》

一般部門

事業番号	6	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	「ドラえもんのうた」を聞いて歌って伝えよう		
団体名	弘前レジェンドを語り継ぐ会		

【主な意見】

- ・団体の活動をきっかけに弘前市立観光館内で遺品の一部が常設展示されるようになったと思うが、場所がわかりづらく、また、レコードが並んでいるだけなので少し寂しいと感じる。展示コーナーまでの案内板やパネルを設置したり、展示内容を充実させていくということも必要だと思うので、今後の発展を期待し、応援したい。
- ・このようなイベントを弘前で開催することで、菊池俊輔氏のファンの方が弘前に足を運ぶきっかけにもなると思うので、是非長く続けていただきたい。
- ・菊池俊輔氏を知らない方がまだ多いということなので、イベントだけでなく、定期的な活動も行っていただきたい。例えば小学校や幼稚園・保育園にも協力をお願いし、小さな子どもたちにも伝えていくなど、様々な紹介の仕方があると思うので、幅広い活動を展開していただきたい。

【審査結果】

合計点 81.2 点 \geq 60.0 点， 各項目の平均点 \geq 3 点 \Rightarrow 採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.1
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.3
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.0
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.9
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.1
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.3
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.7
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.3
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.1
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.4
合 計		81.2

《審査内容》

一般部門

事業番号	3	審査区分	交付決定回数 0～2回の事業
事業名	KUJIRA CINEMA 映画祭		
団体名	KUJIRA CINEMA		

【主な意見】

- ・この事業は映画を見た後に感想を述べ合う場（おしゃべり会）を設けて意見を共有するところが大事な部分になると思うので、色々な感想を持っている参加者の意見を上手く拾い集めることができるような運営をしていただきたい。
- ・映画を見た後におしゃべり会を行うことによって同じ目的で集まった個人がグループになり、団体が次のステップの事業を行う際に協力してくれるなど次の活動につながる可能性があるので、仲間づくりをしっかりと進めていっていただきたい。
- ・今後事業を継続していくために、会員を募っていくのであれば割引などで安くするのではなく、価値のある映画はその価値に見合った金額で上映するといった形を取ることで補助金とのバランスを取ることができると思う。

【審査結果】

合計点 73.3 点 \geq 60.0 点， 各項目の平均点 \geq 3 点 \Rightarrow 採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.2
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.3
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.2
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.1
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	7.6
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.7
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.7
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.1
合 計		73.3

《審査内容》

一般部門

事業番号	2	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	弘前ねぷた参加団体協議会 創立30周年記念誌作成事業		
団体名	弘前ねぷた参加団体協議会		

【主な意見】

- ・小・中学生にも見てもらうためにも、図鑑のようにイラストを多用し、読み進めたくなるような紙面構成を工夫していただきたい。また、ねぷたについて解説する項目を用意するなど、ねぷたについてよくわからない若い方が冊子を読んで学べるような内容だと良いと思う。
- ・年代順の記録的な内容だけではなく、重要なトピックや今まであまり知られていなかった話を掲載したり、読者が見やすいような章構成や紙面構成にするなど、工夫していただきたい。
- ・なぜ町会が昔と比較してねぷたを出すことができなくなったのかということに、少子化による存続の危機もあるため、そこをねぷた団体がどのように克服しているのかということを記念誌を通じて子どもたちに伝えていただきたい。また、ねぷたの形なども時代と共に変化してきていると思うので、そのような歴史も一緒に掲載していただくと子どもたちの関心が一層高まっていくと思う。
- ・担い手不足に対するアプローチとして、ねぷたに関わりたいという思いがあってもなかなか関わっていない若者が担い手として戻ってきたいと思えるようなきっかけ等を団体でぜひ作っていただきたいと思う。

【審査結果】

合計点 77.4点 \geq 60.0点 , 各項目の平均点 \geq 3点 \Rightarrow 採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.0
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.5
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.5
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.7
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.8
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.5
合 計		77.4

《審査内容》

一般部門

事業番号	7	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	考へて発見をする野球教室		
団体名	Catch On Everywhere		

【主な意見】

- ・球速を計測するなど、専門性の高い機器を用いた企画なので、例えば野球チームを対象に継続的にデータ計測を行い、監督やコーチにも指導のポイントを教えながらトレーニングで改善していくというような内容であれば、効果が得られると思うが、今回企画されているように、運動習慣のない方に対しても専門性の高い機器を体験していただくというのは、ハードルが高いのではないか。また、運動習慣のない方に運動の楽しさを知っていただき、短命県返上につなげたいとのことだが、今回の企画がどのようにつながっていくかが疑問で、目的と手法が合っていないように感じる。
- ・「教室」という言葉が与えるイメージから、参加者は「指導を受けられる」と思って申し込みと思う。ただ、当日は指導がないということなので、「教室」という言葉は使わずに、「MLBでも活用されている機械の体験会」や「これから君のスポーツを考えるきっかけにしよう」といった興味を引くキーワードを使うなど、伝え方の工夫をしていただきたい。

【審査結果】

合計点 54.1 点 ≤60.0 点， 各項目の平均点≥3 点 ⇒不採択

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	5.2
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	5.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	5.5
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	5.5
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	5.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	5.7
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	5.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	5.5
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	5.7
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	5.2
合 計		54.1

《審査内容》

一般部門

事業番号	4	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	弘前スティールパン・フェスティバル 2025		
団体名	弘前大学スティールパン部		

【主な意見】

- ・団体が弘前の文化振興を目指しているのであれば、コンサートだけで終わらず参加した市民の中からこれからの団体の活動のお手伝いをしてくれる人やスティールパンに関心を持つ人、演奏をする人を増やすなど、つながりを作っていくことが必要だと思う。
- ・今回は協賛金の計上は行っていないが、高校の吹奏楽部の学生などが企業に足を運んで協賛の依頼を行っているので、ぜひ学生のうちに協賛金の獲得に向けたチャレンジをして活動を継続していただきたい。
- ・前回の参加人数が少なかった要因を周知不足と分析しているが、要因はそれだけであったのかということを考えてももらいたい。例えば参加費は適当であったのか、内容は本当にこれで良いのかなど、団体で話し合って検証していただきたい。

【審査結果】

合計点 71.9 点 \geq 60.0 点， 各項目の平均点 \geq 3 点 \Rightarrow 採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.9
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.1
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.1
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.8
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.5
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.7
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	7.2
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.9
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.5
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.2
合 計		71.9

令和7年度第3回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要（2日目）

日 時：令和7年9月13日（土）

午前9時～11時15分

場 所：市役所市民防災館3階 防災会議室

1 出席者

審査委員 土井委員長、大倉委員、安田委員、相馬委員、小山内委員、伊藤委員、
佐藤（信）委員、斎藤（明）委員、斎藤（夢）委員、小向委員、大湯委員、
一條委員、佐藤（綾）委員、工藤委員

事務局 土岐課長、山崎課長補佐、楠美総括主幹、三上総括主幹、佐藤主幹兼協働推進
係長、工藤主査、佐々木主事、吉田主事、山内主事

2 審査方法

1日目同様

3 審査結果

・一般部門	10事業中	5事業
採択事業		5事業
不採択事業		0事業
・スタート部門	2事業中	2事業
採択事業		2事業
不採択事業		0事業

《審査内容》

一般部門

事業番号	8	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	Minecraft カップ運営委員会がやってくる！～マインクラフトから学ぶプログラミング的思考～		
団体名	学生団体 OTAKIDS		

【主な意見】

- 既に教育版マインクラフトを教育現場に導入している市町村がある中で、実際に触れる機会がないということは、地域格差や教育格差の広がりにつながると思う。教育現場に機械や装置があるということであれば十分に活用してほしいので、教育現場へのアプローチなども頑張っていただきたい。
- 教育現場を変えていくためには、先生方の意識を変えていく必要があるため、子どもと保護者を対象にするだけではなく、先生方を対象にして「見てもらう」という取り組みもあれば良いと思う。先生方に対してしっかりととしたプレゼンテーションができるかということも教育現場を動かしていく大きな力になると思うので、直接先生方にお声がけするなどたくさん参加してもらえるような取り組みを期待している。
- 団体メンバーが感じた「地域の未来について考えた経験をいつか生かしたい」という思いや経験を、今回参加する子どもたちにもたくさんしてもらいたいと強く感じた。

【審査結果】

合計点 83.5 点 \geq 60.0 点 , 各項目の平均点 \geq 3 点 \Rightarrow 採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.2
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.3
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.3
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.6
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.6
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.9
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.0
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.0
合 計		83.5

《審査内容》

一般部門

事業番号	5	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	こどものまちミニひろさき vol. 9		
団体名	こどものまちミニひろさき実行委員会		

【主な意見】

- ・事業をぜひ継続して欲しいので、これまで団体に関わってきた大人（監督役の大学教授やOB）以外で活動に協力してくれる大人も運営に携わることができたら良いと思う。
- ・少子化で町会のイベントが無くなってしまっているので、昔の町会の子ども会のような縦のつながりがある場を作ることは非常に良いことだと思う。応援している。

【審査結果】

合計点 84.7点 \geq 60.0点， 各項目の平均点 \geq 3点 \Rightarrow 採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.4
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.7
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.9
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.4
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.4
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.3
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	8.1
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.6
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.6
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.3
合 計		84.7

《審査内容》

一般部門

事業番号	10	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	「harappa 放課後こども美術室」		
団体名	NPO 法人 harappa		

【主な意見】

- ・今後、講師やスタッフなどの協力者を増やしたいという意図が感じられてとても良いと感じた。講師を務められる人をさらに増やして、子どもたちの様々なニーズに応えられるような体制を作っていただきたい。
- ・多くの子どもたちに体験してもらいたいので、場所を選ばずに行える活動であるならば、各地域の児童館やなかよし会などに出向き、親の送り迎えを必要としない形での活動も検討していただきたい。
- ・毎週継続して開催するという部分が、子どもたちに良い影響を与えてくれると感じた。また、この活動が定着すると、様々な発展の可能性があると思うので頑張っていただきたい。
- ・講師の先生が教材を全て与えるだけではなく、子どもたちが自由に作業する機会の提供もまた、創造性を育む機会になると思う。新たなアプローチとしてそのようなことを掲げることで、活動の趣旨に賛同して協力してくれる方が集まると思うので、活動が定着するように頑張っていただきたい。
- ・今回は美術が事業のメインになっているが、美術に限らず幅広くその他の文化活動も扱っていただければ、活動の視野が広がっていくと思うので期待している。

【審査結果】

合計点 81.0 点 \geq 60.0 点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 \geq 3 点 ,
【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 \geq 6 点 \Rightarrow 採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.7
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.3
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.6
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.3
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.9
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.1
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.9
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.3
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.0
合 計		81.0

《審査内容》

一般部門

事業番号	9	審査区分	交付決定回数 0～2回の事業
事業名	きずなカフェ		
団体名	東地区ちいきの絆食堂		

【主な意見】

- ・活動を地域の方々に知っていただくことで、支援をしてくれる方々がいるかもしれない、地域にもっと活動をアピールしていくことも必要だと思う。
- ・今後、活動を広げていくとなった場合には、こども食堂は全国的にも広がってきてるので、他団体の事例を参考にするなど、様々なやり方を考えていってほしい。
- ・スタッフが不足しており、有償ボランティアを集めるとのことだが、同じ志を持った方々が運営に携わってくれると、今後も事業を継続して実施できると思うので、地域に埋もれた人材を発掘するような取り組みもできれば良いと思う。そのためにも、活動に注目してもらい、目に触れるようにすることはすごく大事なことだと思うので、頑張っていただきたい。

【審査結果】

合計点 81.7 点 \geq 60.0 点， 各項目の平均点 \geq 3 点 \Rightarrow 採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.1
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.4
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.4
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.4
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.9
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.1
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	7.9
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.0
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.3
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.1
合 計		81.7

《審査内容》

一般部門

事業番号	1	審査区分	交付決定回数 0～2回の事業
事業名	第4回弘大力アップ		
団体名	弘前大学将棋部		

【主な意見】

- ・県内には子どもや初心者が参加できる将棋大会が少ない中、そのような方が参加可能な大会を開催することはとても良い試みだと思うので頑張っていただきたい。
- ・将棋を知らない子どももたくさんいると思うので、大会の開催と並行して将棋の裾野を広げる活動や幅広い方が集まれるような体制づくりにも力を入れていただきたい。例えば入門者向けの教室を開催し、将棋の楽しさを伝えるような普及活動にも取り組んでいただければ、将棋のコミュニティも広がっていくと思う。
- ・児童館やなかよし会などに出向き、子どもが将棋を体験する機会を設けたり、図でわかりやすく駒の動かし方を見せるなど、子どもたちと関わりながら将棋を伝え、将棋道場に通う人を増やすなど、大会以外の日頃の活動が活発化するような取り組みなども考えていただきたい。

【審査結果】

合計点 73.7 点 \geq 60.0 点， 各項目の平均点 \geq 3 点 ⇒ 採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.0
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.1
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.1
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.1
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.7
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.9
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	7.6
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.4
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.6
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.1
合 計		73.7

《審査内容》

スタート部門

事業番号	①
事業名	弘前 Kids まなぼう！からだとけんこう
団体名	弘前大学医学部公認サークル アスライフ

【主な意見】

- ・適宜好きなコーナーから自由に体験していただくという点について、自由度は高いと思う一方で、候補となっている会場は他の利用者もいる開けたスペースであり、子どもたちが走り回ったりしてしまうと危険なので、配置や運営の仕方を工夫する、子どもたちの導線を考えるなど、子どもの特性や会場の特性に気を付けながら事業を組み立てていただきたい。
- ・「親子で手洗いチェック」コーナーについて、水道は離れた場所にあると思うので、いつどう洗いに行くのか、「からだのふしき」コーナーで粘土を触った手をどうするのかなど、問題なく運営できるよう、検討していただきたい。

【審査結果】

適 ⇒採択（申請額どおり）

《審査内容》

スタート部門

事業番号	②
事業名	挑戦しよう干し餅作り
団体名	楓木町会

【主な意見】

- ・参加者が各自持ち帰るだけではなく、町会の総会などで実際に作った干し餅を配ることで、地域のみんなで作った報告や、話題にもなると思うので検討していただきたい。
- ・お餅を切ったり、編んだりする作業については、子どもたちにその姿を見せるなど、参加者以外にもたくさんの地域の方々が関わるように工夫をしていただきたい。
- ・事業に若い人を巻き込んでいくために、10種類の干し餅を用意するなど工夫されているので、その工夫が実るように、事業の告知などでしっかりと情報が伝わるように頑張っていただきたい。
- ・交流を図っていく中で、地域の課題は何なのか、今後も交流を図っていくためにはどのような事業ができそうかなど、次につながるような交流をしていただきたい。

【審査結果】

適 ⇒採択（申請額どおり）